

(2) 近隣市町の取り組みについて

近隣市町で実施している取り組みについて研究事例とし整理した。

三芳町（出典：三芳町地域公共交通会議資料）

【公共交通の課題】

- ①道路が狭いため、交通空白地域が存在する。
- ②特に人が多く集まる地域に行く公共交通がない。
- ③公共交通が走っている地域においても運行本数など住民の需要に合っていない部分がある。

【解決策】

町内全域を対象とする共通乗降場方式のデマンド交通を実施する。

【第1回目試行運行概要】

- ・平成26年9月1日から平成26年11月30日の3か月間
- ・午前9時から午後6時まで
- ・毎日運行
- ・町内105箇所の共通乗降場
- ・運賃は1人300円
- ・セダン車両

【試行運行の結果】

- ・運行経費8,180,000円（初期経費を除く）に対して、運賃収入は459,000円と収支率が5.6%となっている。
- ・利用世代は60代から80代が多く、全世代向けの公共交通というより高齢者向けの公共交通となっている。
- ・平日利用が多く、土日祝日の利用が少ない。
- ・町外に設置している共通乗降場の「鶴瀬駅」や「みずほ台駅」の鉄道駅利用が多くあった。

【第2回目試行運行概要】

- ・平成27年7月27日から平成28年3月31日の約8か月間
- ・午前8時30分から午後6時30分
- ・平日のみ運行
- ・町内181箇所の共通乗降場
- ・運賃は1人300円
- ・セダン車両 2台

【試行運行の結果】

- ・運行経費10,079,000円に対して、運賃収入は1,393,800円と収支率が13.8%。
(平成27年7月27日から平成28年1月31日までの実数)
- ・利用世代は60代以上が多く、全世代向けの公共交通というより高齢者向けの公共交通となっている。
- ・予約状況に余裕のある昼の時間帯や短い運行時間の予約が多く乗合もあまり生じていない。
- ・朝は希望の時間通りの予約が成立しにくい。

【第3回目試行運行概要】

- ・平成28年4月1日から平成29年3月31日の1年間
- ・午前8時30分から午後6時30分
- ・平日のみ運行
- ・町内181箇所の共通乗降場
- ・運賃は1人300円

ふじみ野市（出典：ふじみ野市地域公共交通活性化協議会資料）

【公共交通の課題】

- ①高齢化の進展に伴う交通弱者増加への対応
- ②市内循環バスの運行方式・運行サービス等の見直し・改善
- ③市内循環バスの導入目的の明確化
- ④公共交通機関相互連携による上福岡駅周辺への移動手手段の充実
- ⑤公共交通不便地域（鉄道駅より1km以上、バス停より半径300m以上の地域）の解消・改善
- ⑥地域・交通事業者・行政との役割分担による協働の仕組み

【解決策】

- ・ 地域の実情に則した利便性・効率性の高い市内循環ワゴンの実現
- ・ 公共交通機関の機能分担の明解化と連携強化

【市内循環ワゴン運行概要】

- ・ 午前8時から午後7時まで
- ・ 毎日運行（12/29～1/3 除く）
- ・ 定時定路線型 5コース
- ・ 運賃は大人200円 子供100円（小学生） 小学生未満無料
特別乗車証制度の廃止
- ・ ワンボックス車両 9人乗り 5台（車椅子の乗車可）

【お出かけサポートタクシー事業概要】

- ・ 午前8時30分から午後5時まで
- ・ 毎日運行（12/29～1/3 除く）
- ・ 対象者は、65歳以上の高齢者、障がい者、要介護認定者、妊婦、未就学児
- ・ 運賃はタクシー運賃の半額
- ・ 共通乗降方式 130箇所
- ・ セダン車両